

2024年3月11日

各 位

会 社 名 株式会社Fast Fitness Japan  
代表者名 代表取締役社長 山部 清明  
(コード番号：7092 東証プライム市場)  
問合せ先 財務・経理本部  
エグゼクティブマネージャー 三井 規 彰  
兼 CFO  
( TEL. 03-6279-0861)

通期連結業績予想の修正（上方修正）及び配当方針の変更（配当性向、DOE 導入）並びに配当予想の修正（増配）に関するお知らせ

当社は、2024年3月11日開催の取締役会において、最近の動向等を踏まえ、2023年11月14日に公表しました2024年3月期通期連結業績予想を修正するとともに、配当方針の変更及び期末の配当予想を修正することを決議しましたので、併せてお知らせいたします。

## 記

## 1. 通期連結業績予想の修正について

(1) 2024年3月期通期連結業績予想の修正（2023年4月1日～2024年3月31日）（単位：百万円）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	15,400	3,100	3,000	1,600	85円50銭
今回修正予想（B）	15,700	3,300	3,500	1,900	101円53銭
増減額（B－A）	300	200	500	300	
増減率（％）	1.9	6.5	16.7	18.8	
（ご参考）前期連結実績 （2023年3月期）	14,787	3,364	3,402	1,914	102円37銭

## (2) 修正の理由

売上高につきましては、2023年12月から2024年1月にかけて実施しました、全国規模のプロモーション活動等が奏功し、エニタイムフィットネスの認知度向上とともに会員数が増加したことから、通期の売上高は前回予想を上回る見通しとなりました。利益面では、主に直営店において継続的に実施している店舗運営の効率化等に伴う売上原価の改善や、全社的なコストコントロールを推進した結果、増益の見通しとなりました。なお、中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）

で掲げております各戦略の進捗状況及び初年度である当期の業績を踏まえ、本中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）につきましては、2024年5月頃の中期経営計画のローリングの際にこれらを反映し、公表する予定です。

## 2. 配当方針の変更について

### （1）変更の理由

当社は、配当に関する基本方針として、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、内部留保の充実を図り、事業拡大と事業の効率化のための投資に充当し、持続的に成長することで企業価値を高めていくことが株主に対する最大の利益還元につながるとしております。

また、中期的には2023年11月に公表の中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）において、国内のエニタイムフィットネスの店舗数の拡大による売上成長に留まらず、全国に1,000店舗超、会員数80万人超のエニタイムフィットネスの基盤を活かした物販やEC事業等の展開による収益基盤の多様化、新たな成長領域の開拓として、日本以外の国もしくは地域においてエニタイムフィットネスのマスターフランチャイズ権を取得し店舗展開することを目的とした海外進出、新ブランドの展開等を中期的な成長戦略として掲げるとともに、同期間を積極的な成長投資を行うフェーズと位置づけていることから、内部留保を図りつつも、年間配当は25円程度を維持する方針としておりました。

今般、「1. 通期連結業績予想の修正について」に記載のとおり、2023年11月14日に公表しました中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）の初年度の当期業績が、予想を上回る見込みとなりましたので、引き続き同計画に基づく成長投資及び基盤構築を通して企業価値の向上を図るとともに、中長期の利益水準やキャッシュフローの状況等を勘案し、株主還元方針を変更することといたしました。

配当金につきましては、内部留保の充実を図りつつ、重要指標であるROE、自己資本比率の状況を総合的に勘案するとともに、中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）期間における積極的な成長投資に伴う短期的な業績の変動による影響を抑制し、安定的かつ継続的な配当政策の姿勢をより明確にするため、同期間においては、新たに指標として配当性向及びDOE（連結株主資本配当率 ※）を導入し、配当方針を変更することといたしました。

今後も、成長戦略を着実に進めていくことが中長期的な企業価値の向上につながるとの考えから中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）で掲げた戦略を着実に推進してまいります。

※ DOE（連結株主資本配当率）＝年間配当総額÷連結純資産

(2) 変更の内容

変更前	当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と認識しつつ、内部留保の充実を図り、事業拡大と事業の効率化のための投資に充当し、持続的に成長することで企業価値を高めていくことが株主に対する最大の利益還元につながると考えております。
変更後	当社は、株主に対する利益還元を重要な経営課題と位置付け、中核の国内エンタイムフィットネス事業の持続的な拡大、新たな成長領域の開拓を進めるための成長投資及び基盤構築を通して企業価値の向上を図るとともに、中長期の利益水準やキャッシュフローの状況等を勘案し、株主還元方針を決定しております。配当金につきましては、内部留保の充実を図りつつ、事業拡大と事業の効率化のための成長投資や財務の充実を図り、重要指標であるROE、自己資本比率の状況を総合的に勘案するとともに、中期経営計画（2024年3月期-2026年3月期）期間における積極的な成長投資に伴う短期的な業績の変動による影響を抑制し、安定的かつ継続的な配当政策の姿勢をより明確にするため、同期間においては「連結配当性向40%」を配当の目安とし、「DOE 4.5%」を下限に設定し、より高水準かつ安定的な配当額を決定することといたします。

(3) 変更時期

2024年3月期より適用いたします。

(ご参考)

経営成績（2020年12月上場以降）

（単位：百万円）

決算期	売上高	営業利益	経常利益	純利益	自己資本比率	ROE	配当性向	DOE
2021年3月期	11,163	2,293	2,255	920	38.5	16.1	12.0	1.1
2022年3月期	13,097	2,945	2,943	1,702	45.1	19.1	13.2	2.5
2023年3月期	14,787	3,364	3,402	1,914	52.9	18.3	24.4	4.5

3. 配当予想の修正について

上記の業績予想の修正及び配当方針の変更に伴い、株主の皆様のご期待に適切に応えていく観点から、2024年3月期の期末配当予想を1株当たり15円から、1株当たり15円増配の30円に修正いたします。これにより、年間配当金は中間配当10円と合わせまして40円となる予定です。

なお、配当金額の正式な決定につきましては、2024年5月に開催予定の取締役会において行う予定です。

修正の内容

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前回修正予想 (2023年5月15日発表)		15円00銭	25円00銭
今回修正予想		30円00銭	40円00銭
当期実績 (2024年3月期)	10円00銭		
(ご参考) 前期実績 (2023年3月期)	10円00銭	15円00銭	25円00銭

(注) 上記予想は、本資料公表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。

以上